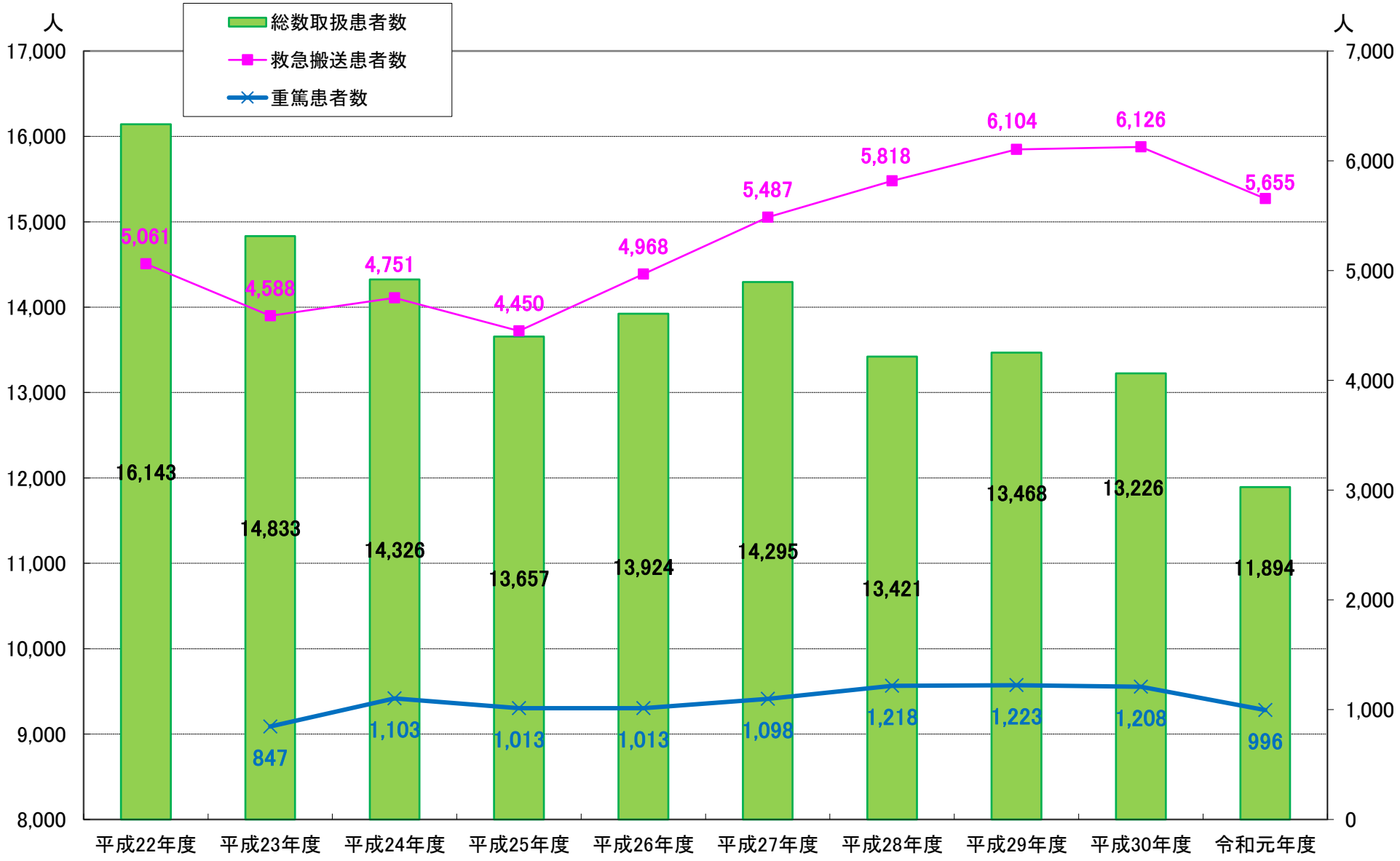
令和元年度
高 知 赤 十 字 病 院
救命救急センター運営状況

令和２年１２月作成

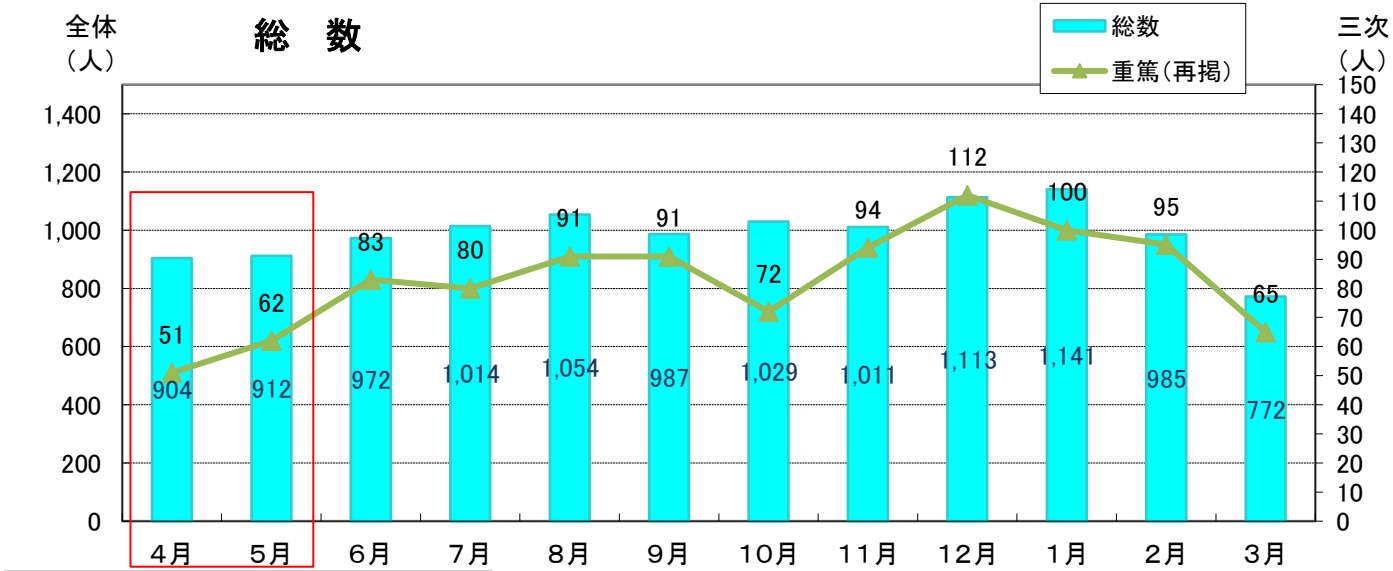
1. 救命救急センター取扱患者年度別推移（総数・救急車・三次）



※重篤患者数：厚労省による救命救急センター現況調査において、指定する基準を満たす重篤な患者の数

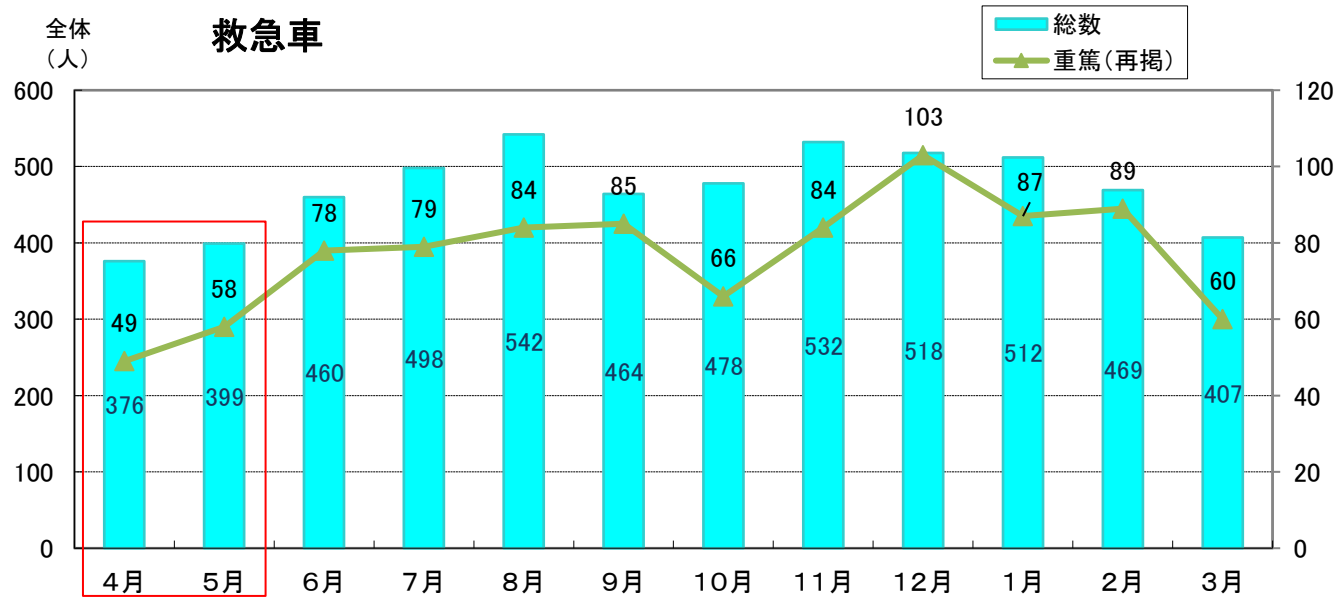
高知赤十字病院

2. 救命救急センター月別取扱患者数



5/6病院移転に伴う受入制限を実施

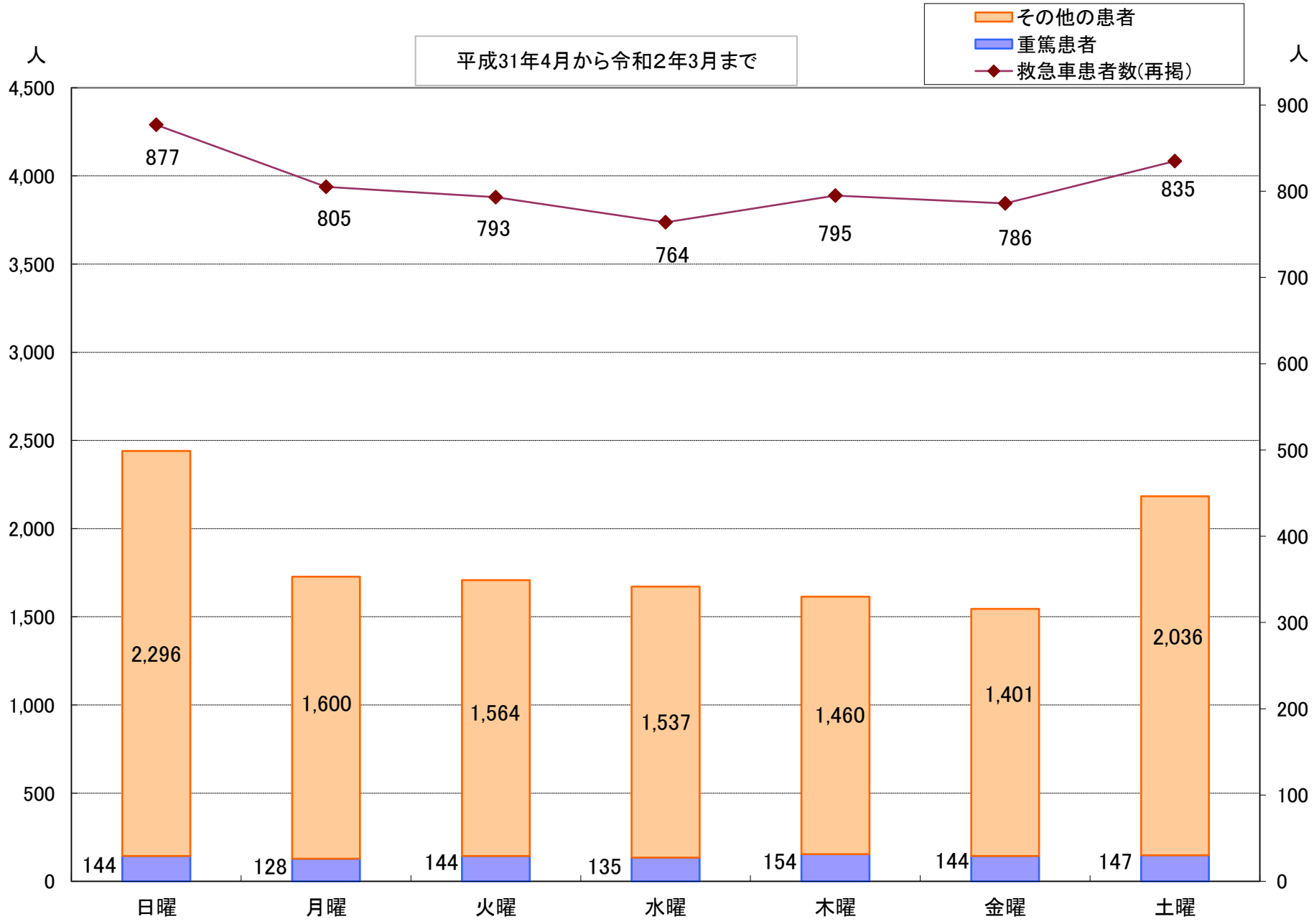
総　数	11,894 人
重篤患者数	996 人



総　数	5,655 人
重篤患者数	922 人

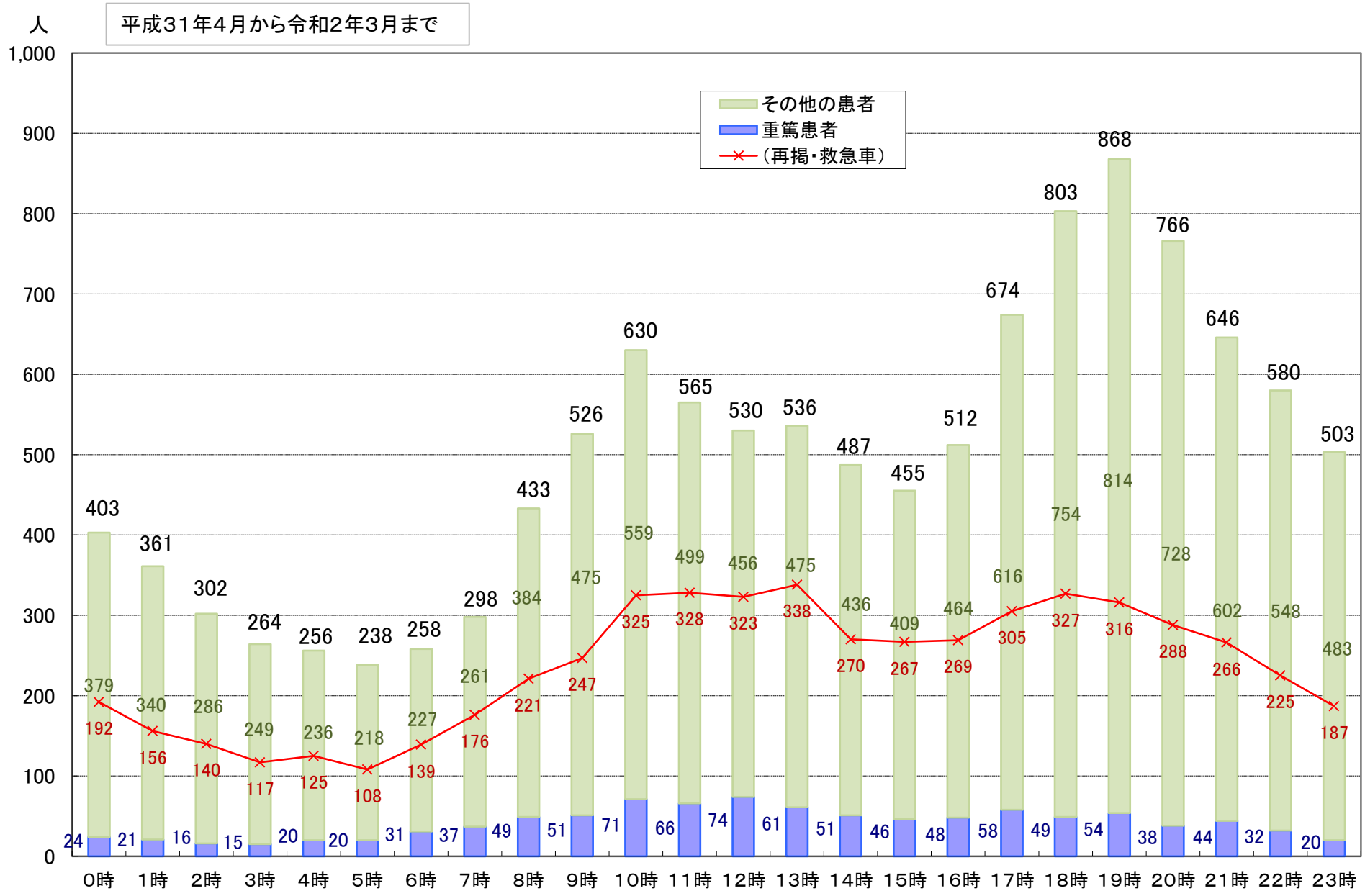
高知赤十字病院

3. 曜日別救急患者・救急車患者数調



高知赤十字病院

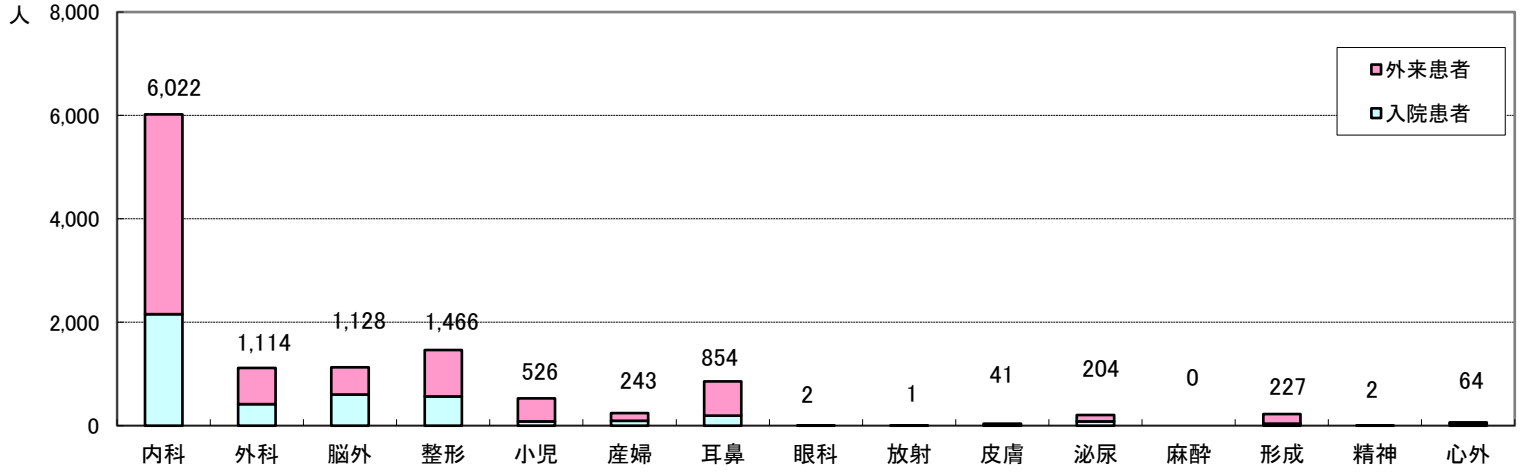
4. 時間帯別救急患者数調



高知赤十字病院

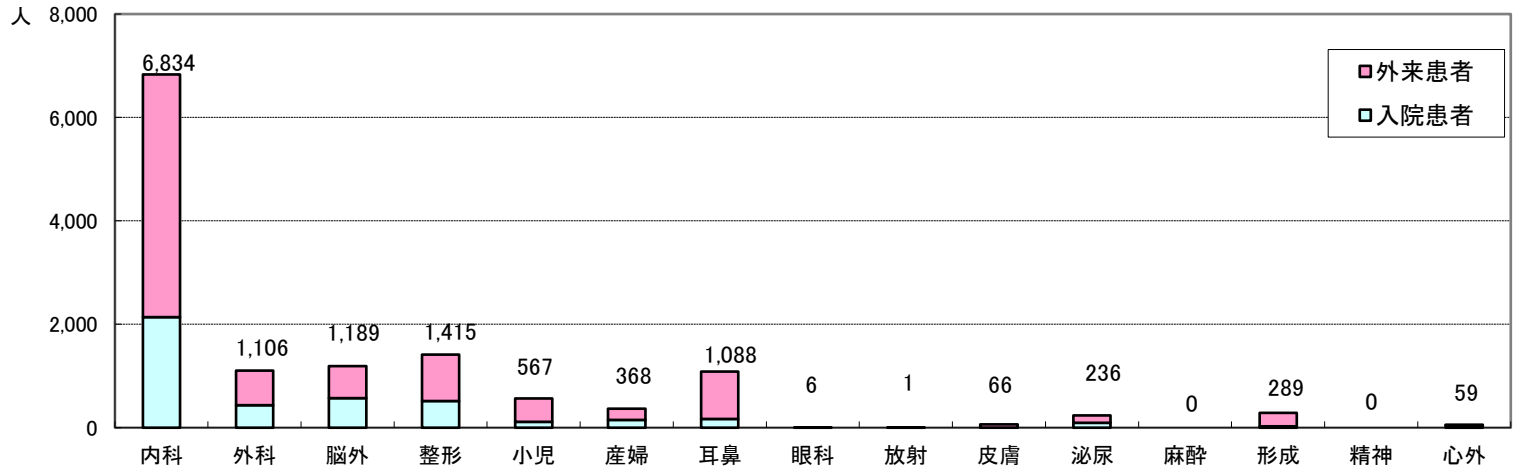
5. 令和元年度　診療科別入外別救急患者数調

R01



R01	内科	外科	脳外	整形	小児	産婦	耳鼻	眼科	放射	皮膚	泌尿	麻酔	形成	精神	心外	合計
外来患者	3,867	698	525	900	444	145	661	2	1	35	120	0	190	2	26	7,616
入院患者	2,155	416	603	566	82	98	193	0	0	6	84	0	37	0	38	4,278
合計	6,022	1,114	1,128	1,466	526	243	854	2	1	41	204	0	227	2	64	11,894

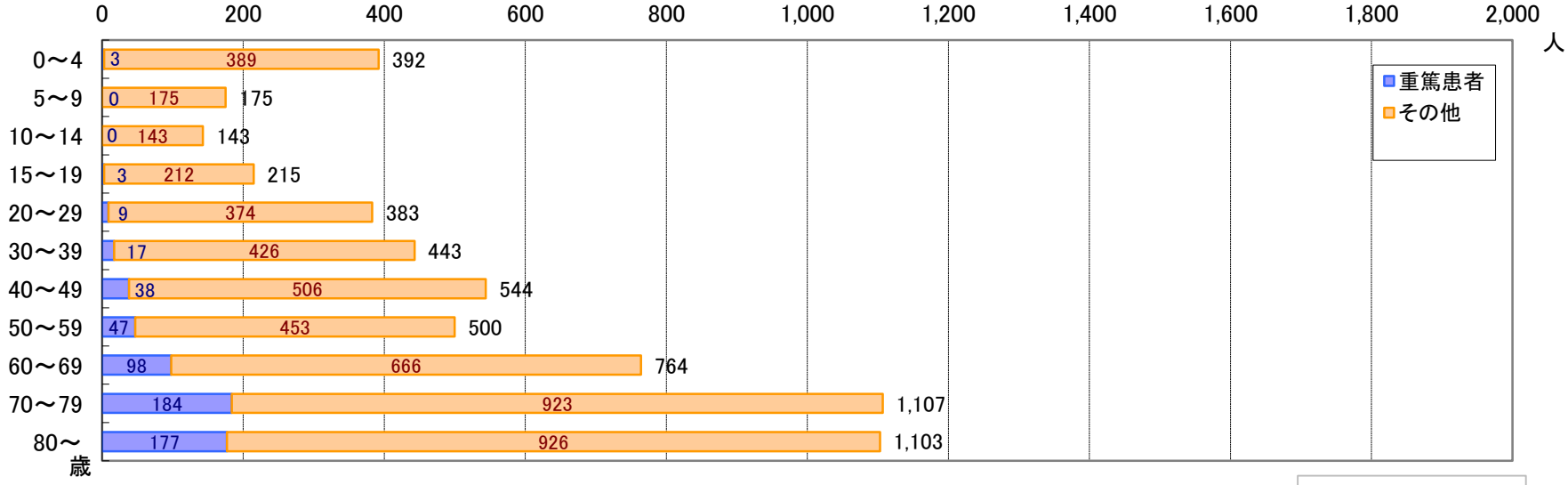
H30



H30	内科	外科	脳外	整形	小児	産婦	耳鼻	眼科	放射	皮膚	泌尿	麻酔	形成	精神	心外	合計
外来患者	4,696	673	618	902	454	215	917	6	1	61	139	0	260	0	13	8,957
入院患者	2,138	433	571	513	113	153	171	0	0	5	97	0	29	0	46	4,269
合計	6,834	1,106	1,189	1,415	567	368	1,088	6	1	66	236	0	289	0	59	13,226

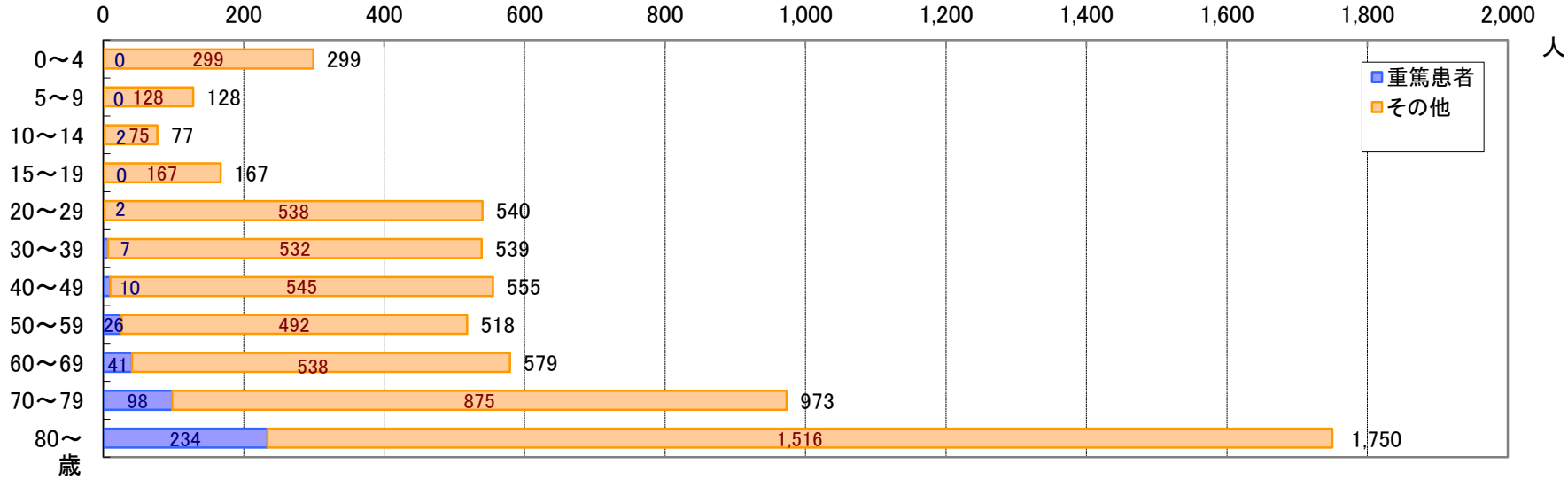
6. 年齢別・男女別取扱患者数　（平成31年4月から令和2年3月まで）

男　5,769 人



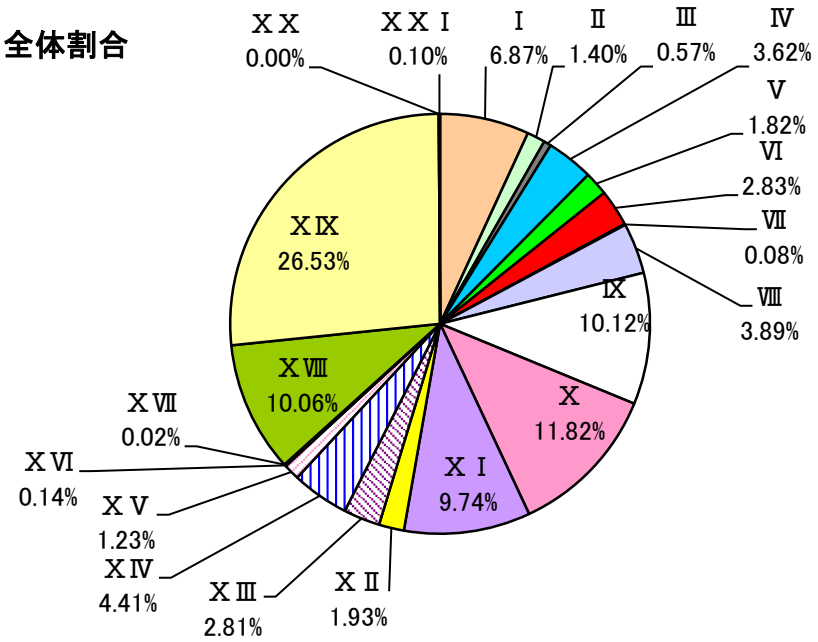
男女比
49:51

女　6,125 人

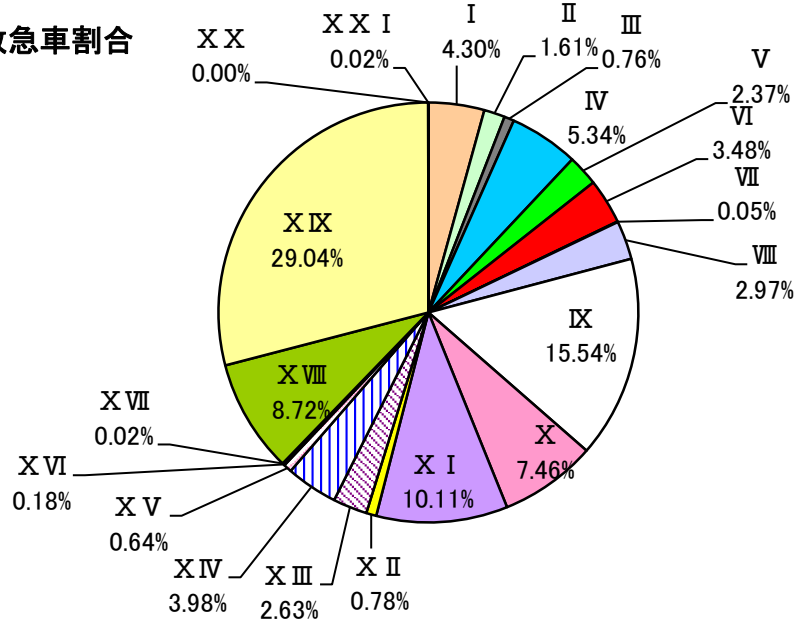


7. 疾病別取扱患者数

全体割合



救急車割合

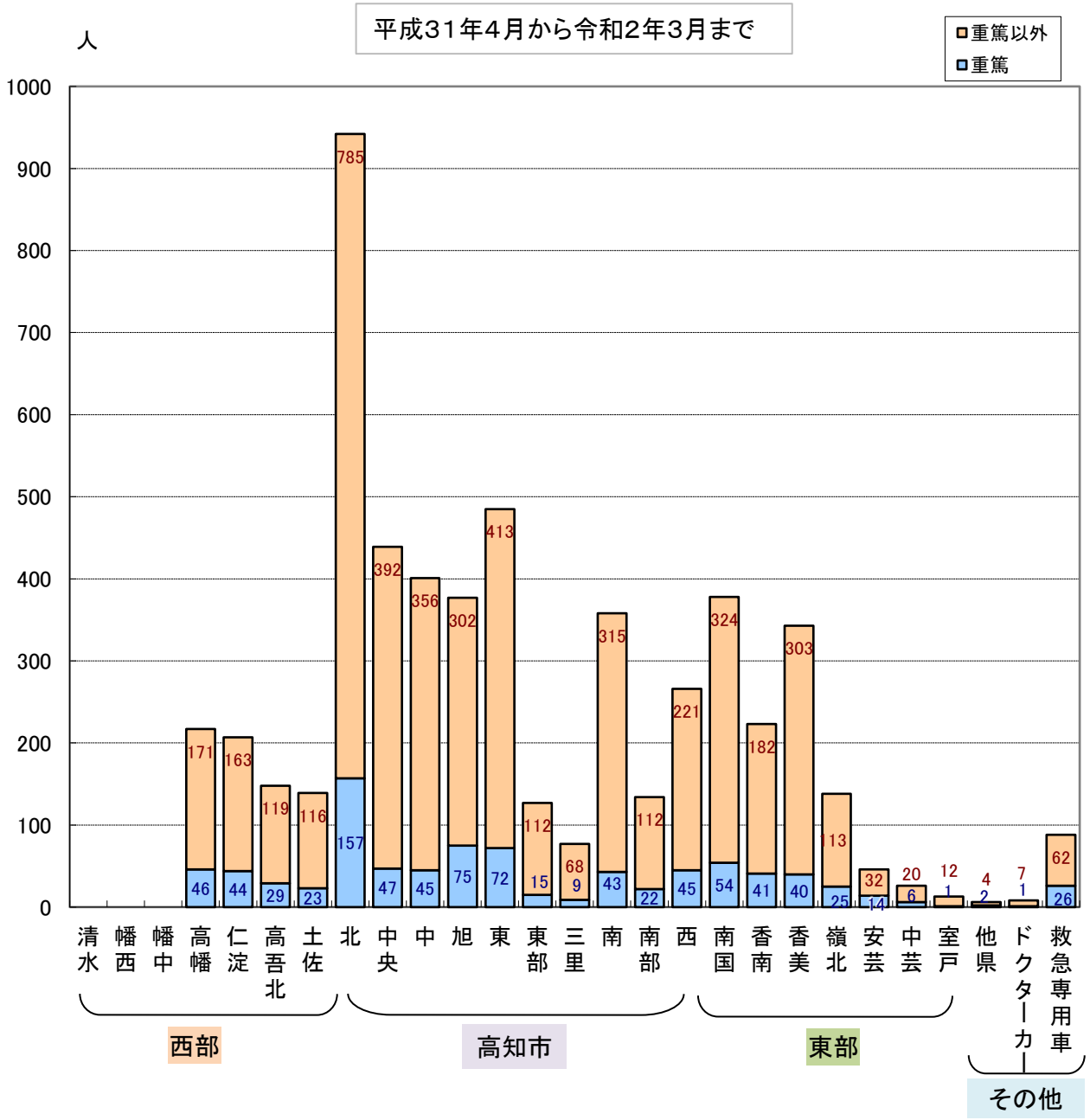


令和 元 年度

	疾病区分	全体	救急車
Ⅰ	感染症及び寄生虫症	817	243
Ⅱ	新生物	166	91
Ⅲ	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	68	43
Ⅳ	内分泌、栄養及び代謝疾患	430	302
Ⅴ	精神及び行動の障害	217	134
Ⅵ	神経系の疾患	337	197
Ⅶ	眼及び付属器の疾患	10	3
Ⅷ	耳及び乳様突起の疾患	463	168
Ⅸ	循環器系の疾患	1） 1,204	2） 879
Ⅹ	呼吸器系の疾患	1,406	422
ＸⅠ	消化器系の疾患	1,158	572
ＸⅡ	皮膚及び皮下組織の疾患	230	44
ＸⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	334	149
ＸⅣ	尿路性器系の疾患	525	225
ＸⅤ	妊娠、分娩及び産じょく	146	36
ＸⅥ	周産期に発生した病態	17	10
ＸⅦ	先天奇形、変形及び染色体異常	2	1
ＸⅧ	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,196	493
ＸⅨ	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,156	1,642
ＸＸ	傷病及び死亡の外因	0	0
ＸＸI	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	12	1
	合計	11,894	5,655

※脳血管疾患
1） 395 件
2） 337 件 を含む

8. 令和 元 年度 救急車地域別搬入患者数



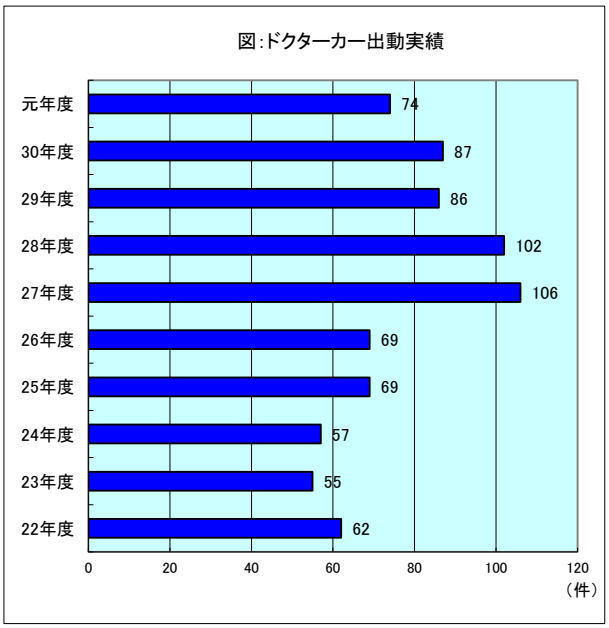
		全 体	重 篤	重篤以外
西部	清水	0	0	0
	幡西	0	0	0
	幡中	0	0	0
	高幡	217	46	171
	仁淀	207	44	163
	高吾北	148	29	119
	土佐	139	23	116
	合計	711	142	569
	%	12.6%	15.4%	12.0%
高知市	北	942	157	785
	中央	439	47	392
	中	401	45	356
	旭	377	75	302
	東	485	72	413
	東部	127	15	112
	三里	77	9	68
	南	358	43	315
	南部	134	22	112
	西	266	45	221
	合計	3,606	530	3,076
	%	63.8%	57.5%	65.0%
東部	南国	378	54	324
	香南	223	41	182
	香美	343	40	303
	嶺北	138	25	113
	安芸	46	14	32
	中芸	26	6	20
	室戸	13	1	12
	合計	1,167	181	986
	%	20.6%	19.6%	20.8%
小計		5,484	853	4,631
%		97.0%	92.5%	97.8%
その他	他県	6	2	4
	ドクターカー	8	1	7
	救急専用車	88	26	62
	ヘリ	69	40	29
	合計	171	69	102
	%	3.0%	7.5%	2.2%
総合計		5,655	922	4,733
%		100%	100%	100%

9. 令和元年度　救命救急センター事業

講　義　・　実　習	センター会議　・　症例検討会		院外会議・研修会
6/3～6/28	4/22	第196回救急医療症例検討会　参加者　63名	
救急救命士資格取得後就業前研修(3名)		【高知医療センターにて開催】	
6/4～6/13			
気管挿管実習(1名)	6/5	第197回救急医療症例検討会　参加者　58名	
6/5～2/26		【近森病院にて開催】	
救急ワークステーション			
【毎週水曜日に救急隊を病院に受け入れ、症例	6/19	第198回救急医療症例検討会　参加者　81名	
検討や講義、救急現場での指導を行っている】		「救急隊による静脈路確保とドクターカー要請が	
6/24～7/3		行われた、アナフィラキシーショックの一例」	
気管挿管実習(1名)		「血糖を測定するべきかどうか判断に迷った1症例」	
6/24～11/26		講演　①「低血糖について」	
救急救命士病院再教育研修（6名）		②「ラピッドレスポンスカーの運用について」	
7/1～7/29			
救急救命士資格取得後就業前研修(3名)	7/23	第199回救急医療症例検討会　参加者　80名	
7/8～7/18		【高知医療センターにて開催】	
気管挿管実習(1名)			
7/25～8/5	8/29	第200回救急医療症例検討会　参加者　94名	
気管挿管実習(1名)		「救命の連鎖が奏功し、社会復帰できた心肺停止症例」	
8/13～8/19		講演「蘇生を望まない救急搬送について」	
気管挿管実習(1名)			10/7
8/19～8/30	9/20	第201回救急医療症例検討会　参加者　56名	救命救急センター連絡協議会
救急救命士研修所生養成課程(3名)		【近森病院にて開催】	
9/2～9/10			10/10～10/11
気管挿管実習(1名)	10/26,27	第8回高知J-MELS講習会　参加者　110名	病院前医療体制における 指導医等研修(初級)
9/18～10/24			
救急救命士病院再教育研修(17名)	10/28	第202回救急医療症例検討会　参加者　33名	11/3
10/7～10/11		【高知医療センターにて開催】	日本赤十字社 JTASプロバイダーコース
気管挿管実習(1名)	11/10	第27回高知赤十字病院ICLSコース　参加者　42名	11/7～11/8
10/16～2/26			病院前医療体制における 指導医等研修(上級)
救急救命士病院再教育研修(7名)	11/28	第203回救急医療症例検討会　参加者　49名	
10/23～2/28		「交通外傷による腹部動脈損傷により出血性ショック	
救急救命士病院再教育研修(26名)		に陥ったが、塞栓術で救命しえた症例」	
10/23～11/1		講演「動脈塞栓術による止血術について」	
気管挿管実習(1名)		「腹部外傷について」	
11/18～11/25			
気管挿管実習(1名)	12/16	第204回救急医療症例検討会　参加者　55名	
1/20～1/31		【近森病院にて開催】	
救急救命士研修所生養成課程(4名)			
2/3～3/3	2/17	第205回救急医療症例検討会　参加者　21名	
救急救命士資格取得後就業前研修(1名)		【高知医療センターにて開催】	

10.ドクターカー出動実績
平成22年度～令和元年度

平成/令和	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	合計
出動回数	62	55	57	69	69	106	102	86	87	74	815



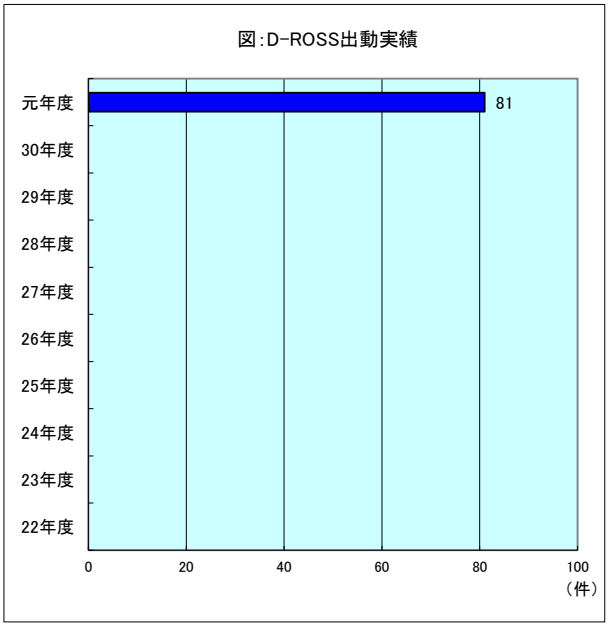
●令和元年度地域別目的別出動件数

出動地域＼目的	西　部	高知市	東　部	県　外	総　計
受入	10	7	0	0	17
転出（周産期）	2	41 (12)	11 (2)	3	57 (14)
その他（現場出動等）	0	0	0	0	0
総計	12	48	11	3	74

（再　掲）		
	医師（救急専門医）同乗	74件 (100%)
	看護師同乗	57件 (77 %)
	救急救命士（病院専属）同乗	0件 (0%)
	専任ドライバー運転	74件 (100%)

10.D-CROSS出動実績
令和元年度

令和										元年度	合計
出動回数										81	81

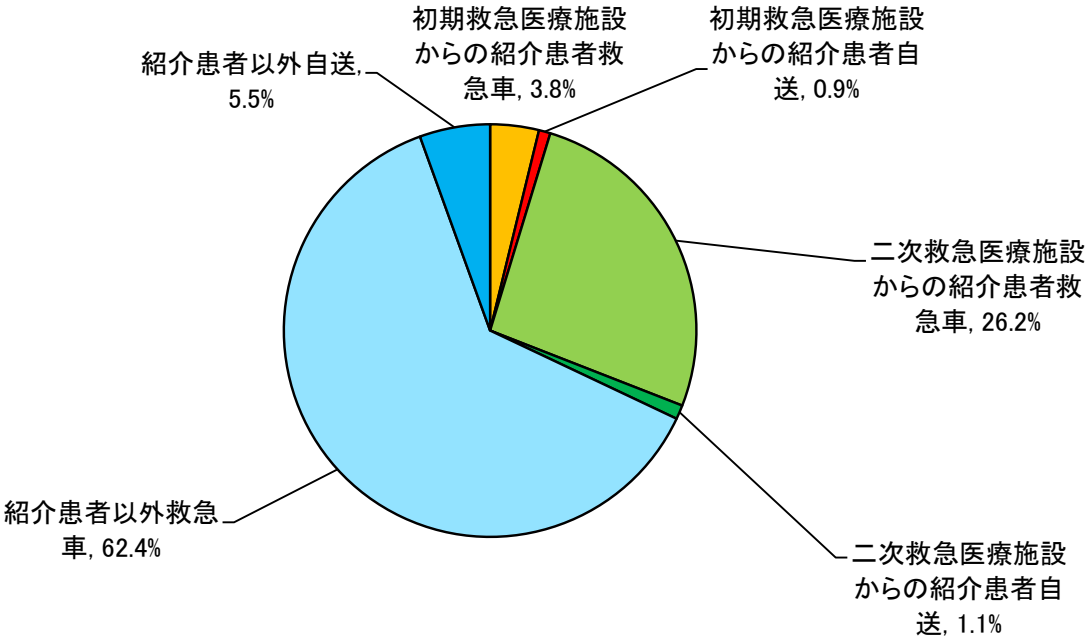


●令和元年度地域別目的別出動件数

出動地域＼目的	西　部	高知市	東　部	県　外	総　計
受入	15	51	13	0	79
その他（他院搬送等）		1	1		2
総計	15	52	14	0	81

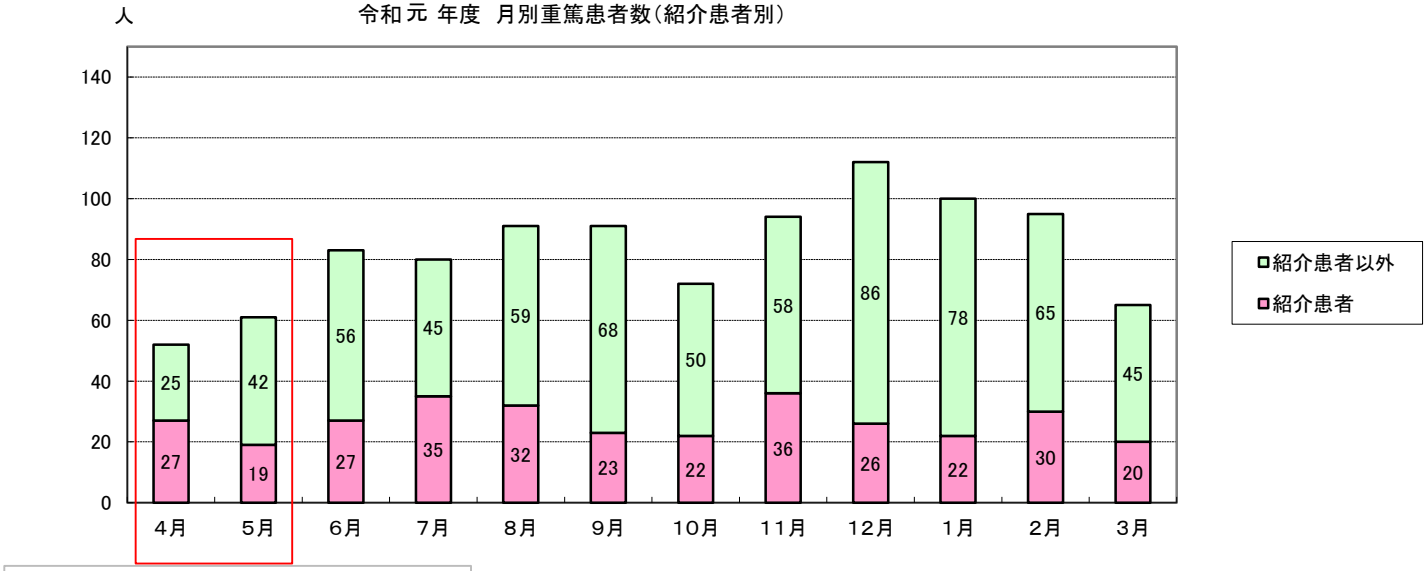
（再　掲）		
	医師（救急専門医）同乗	81件 (100%)
	看護師同乗	81件 (100%)
	救急救命士（病院専属）同乗	0件 (0%)
	専任ドライバー運転	81件 (100%)

11.救命救急センター取扱重篤患者内訳（紹介患者搬送別）



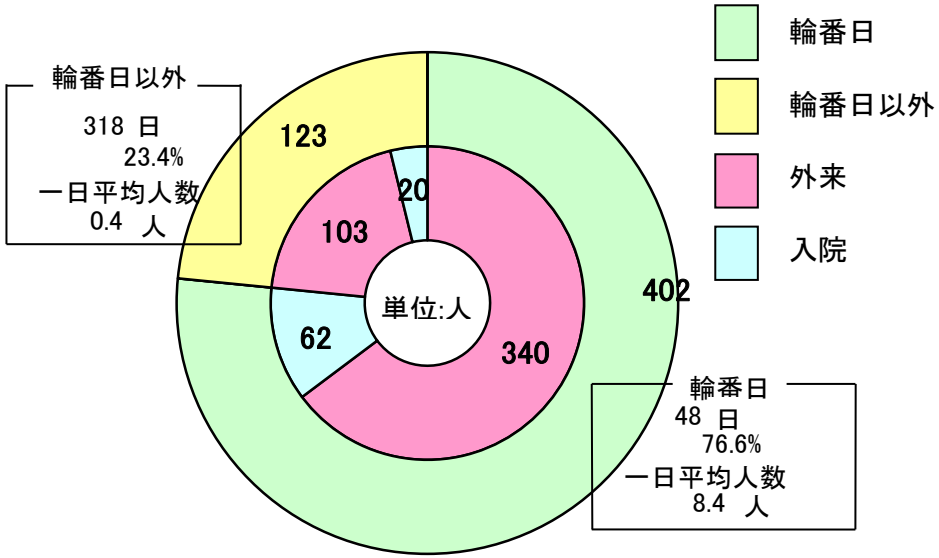
	人数	%
救急車	921	92.5%
自送	75	7.5%
入院	996	100.0%
外来	0	0.0%

紹介患者（人）	紹介患者以外	総計
319	677	996



12.令和元年度　救命救急センター取扱小児科患者内訳（輪番日別）

●平成 27～令和元 年度小児科患者数内訳

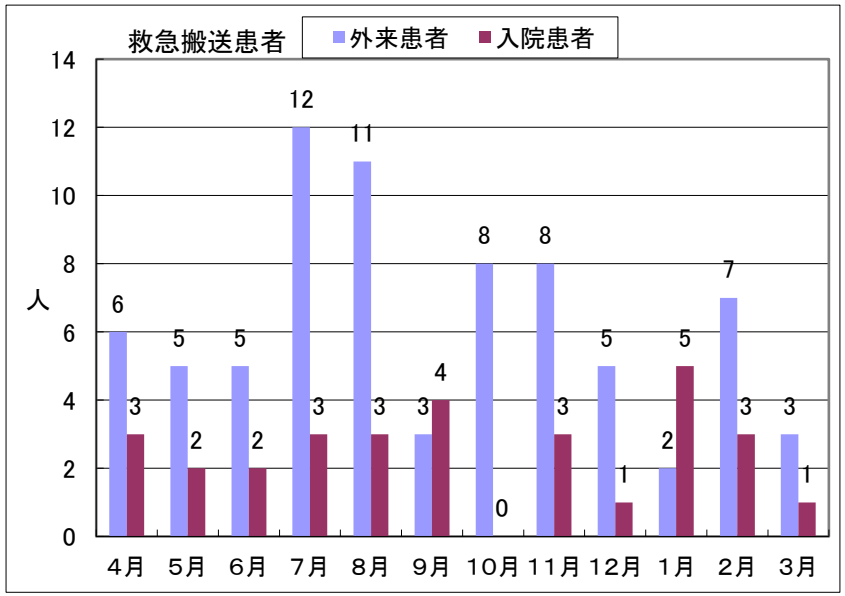


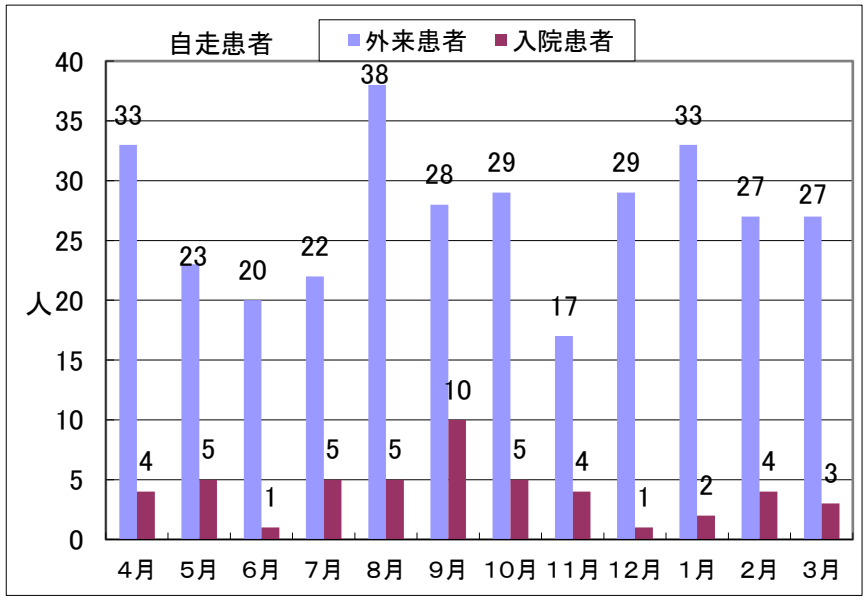
	人数	%	一日平均
入院	82	15.6%	
外来	443	84.4%	
小児科全体	525	100.0%	1.4

年度別患者数

年度	輪番日患者数			輪番日以外患者数			小児科患者合計		
	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均
R01	402	48	8.4	123	318	0.4	525	366	1.4
H30	480	48	10.0	87	317	0.3	567	365	1.6
H29	475	48	9.9	84	317	0.3	559	365	1.5
H28	222	26	8.5	88	339	0.3	310	365	0.8
H27	271	24	11.3	127	341	0.4	398	366	1.1

●輪番日における小児科患者搬送別･入院患者数





13.令和元年度　t－PA施行症例数_月別推移

単位：人

受入制限を実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R01	0	1	4	5	3	3	1	4	5	4	6	4	40
H30	1	3	5	2	2	2	7	2	0	4	3	5	36
H29	2	3	5	4	6	5	6	2	6	8	4	3	54
H28	4	4	2	0	3	7	5	2	7	2	0	3	39
H27	0	2	2	1	1	0	2	4	2	1	5	1	21
H26	1	0	0	1	0	1	2	0	4	0	2	3	14
H25	0	4	3	0	1	0	1	1	1	0	1	3	15

14. 令和元年度重篤患者数

年間重篤患者数（平成31年4月～令和2年3月）

一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

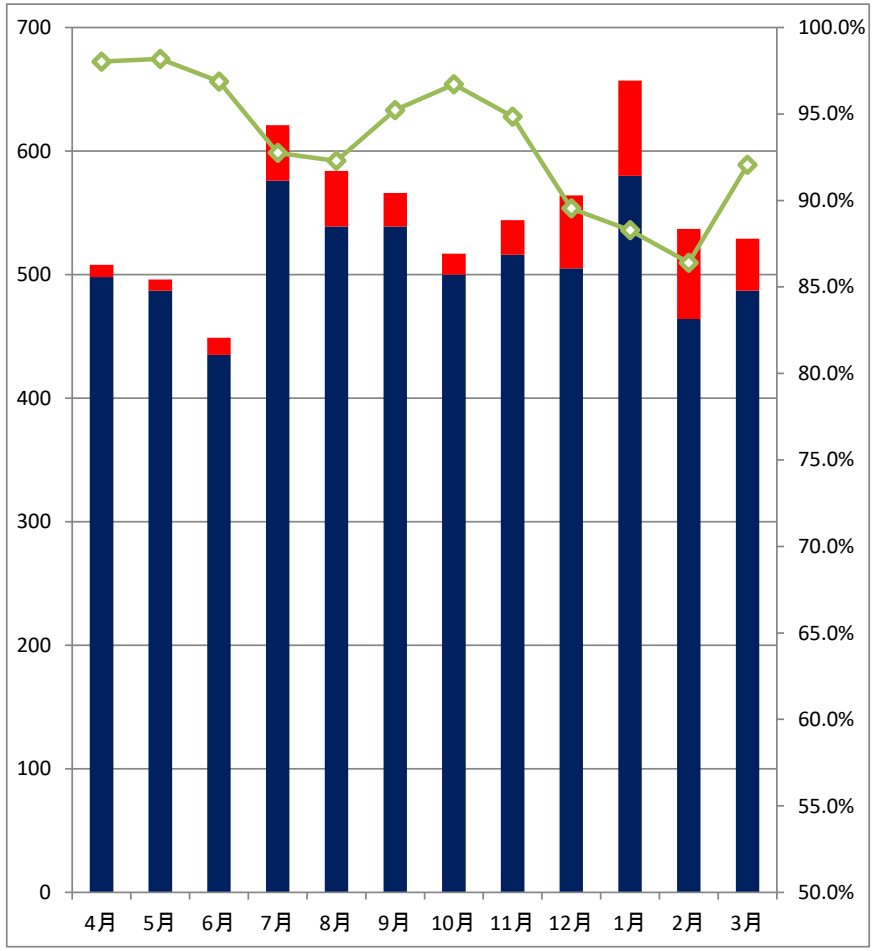
番号	疾病名	基準（基準を満たすもののみ数えること）	患者数（人）	退院・転院（転棟を含む）（人）	死亡（人）
1	病院外心停止	病院への搬送中に自己心拍が再開した患者及び外来で死亡を確認した患者を含む。	83	11	72
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞又は急性心筋梗塞と診断された患者若しくは緊急冠動脈カテーテルによる検査又は治療を行った患者	118	110	8
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂と診断された患者	23	20	3
4	重症脳血管障害	来院時JCS100以上であった患者、開頭術、血管内手術を施行された患者又はtPA療法を施行された患者	150	135	15
5	重症外傷	Max AISが3以上であった患者	125	120	5
		緊急手術が行われた患者	13	13	0
		Max AISが3以上かつ緊急手術が行われた患者	22	17	5
6	指肢切断（四肢もしくは指趾の切断）	四肢もしくは指趾の切断ないし不全切断と診断され、再接合術が実施された患者	0	0	0
7	重症熱傷	Artzの基準により重症とされた患者	2	2	0
8	重症急性中毒	来院時JCS100以上であった患者又は血液浄化法を施行された患者	7	7	0
9	重症消化管出血	緊急内視鏡による止血術を行った患者	85	81	4
10	敗血症	感染症によって重篤な臓器障害が引き起こされた患者	160	141	19
	敗血症性ショック	敗血症に急性循環不全を伴い、細胞組織障害および代謝異常が重度となる患者	132	115	17
11	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈した患者	6	6	0
12	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等と診断された患者	4	4	0
13	重症呼吸不全	呼吸不全により、人工呼吸器を使用した患者（1から12までを除く。）	97	95	2
14	重症急性心不全	急性心不全により、人工呼吸器を使用した患者又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABPを使用した患者（1から12までを除く。）	53	53	0
15	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血が必要であった患者（1から12までを除く。）	7	5	2
16	重症意識障害	来院時JCS100以上の状態が24時間以上持続した患者（1から12までを除く。）	4	4	0
17	重篤な肝不全	肝不全により、血漿交換又は血液浄化療法を施行された患者（1から12までを除く。）	0	0	0
18	重篤な急性腎不全	急性腎不全により、血液浄化療法を施行された患者（1から12までを除く。）	34	34	0
19	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群等に対して持続動注療法、血漿交換又は手術療法を施行された患者（1から18までを除く。）	3	3	0
合計			996	861	135

「5.重症外傷」の内訳		患者数（人）	退院・転院（転棟を含む）（人）	死亡（人）
AIS≧3	AIS≧3が2つ以上の症例	63	57	6
	開放骨折	6	5	1
	その他	78	75	3
緊急手術症例（AIS＜3）	開放骨折	4	4	0
	その他	9	9	0
		160	150	10

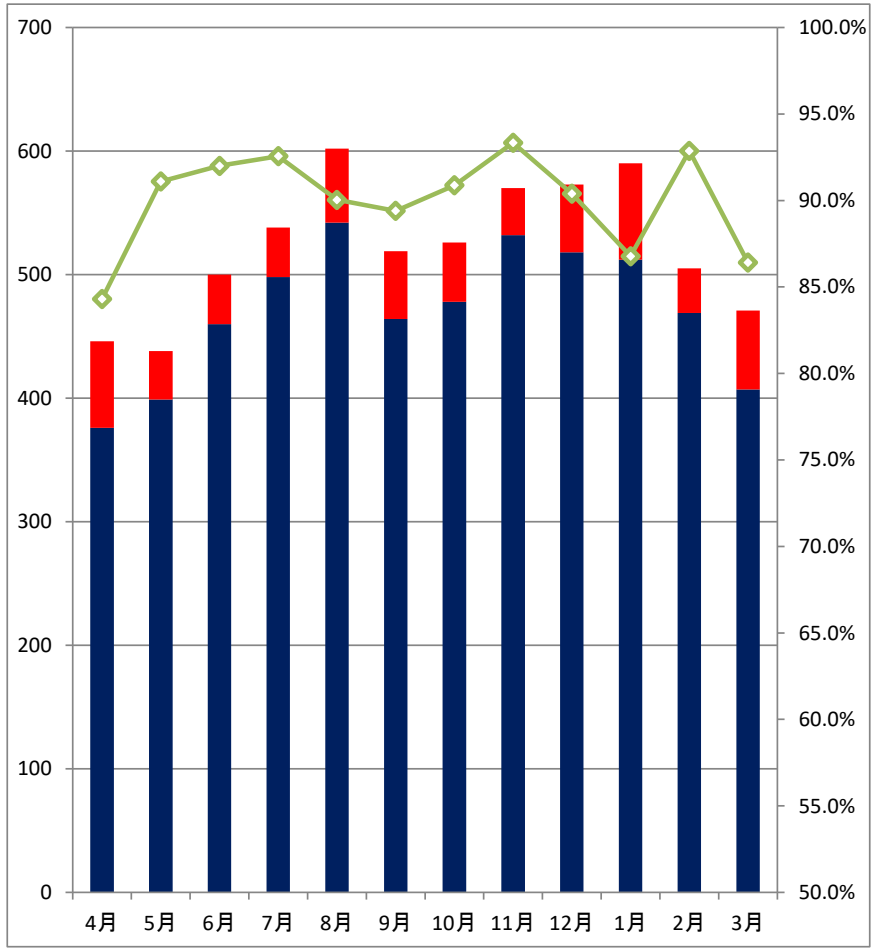
15.応需率調べ

1. 月別応需率

平成30年度



令和元年度



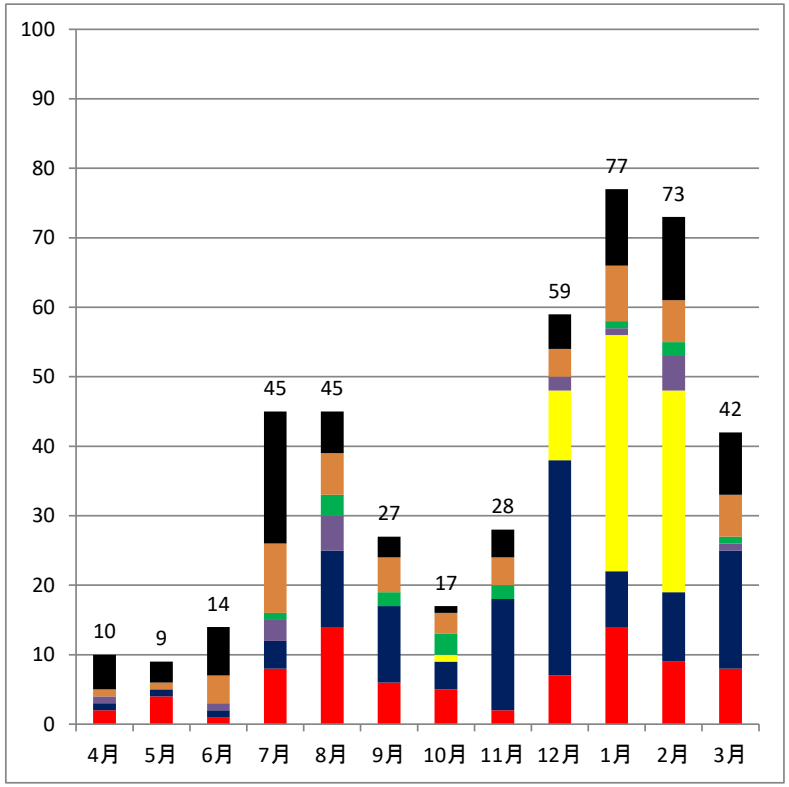
平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	508	496	449	621	584	566	517	544	564	657	537	529	6572
■受入件数(件)	498	487	435	576	539	539	500	516	505	580	464	487	6126
■収容不可(件)	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446
◇応需率(%)	98.0%	98.2%	96.9%	92.8%	92.3%	95.2%	96.7%	94.9%	89.5%	88.3%	86.4%	92.1%	93.2%

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	446	438	500	538	602	519	526	570	573	590	505	471	6278
■受入件数(件)	376	399	460	498	542	464	478	532	518	512	469	407	5655
■収容不可(件)	70	39	40	40	60	55	48	38	55	78	36	64	623
◇応需率(%)	84.3%	91.1%	92.0%	92.6%	90.0%	89.4%	90.9%	93.3%	90.4%	86.8%	92.9%	86.4%	90.1%

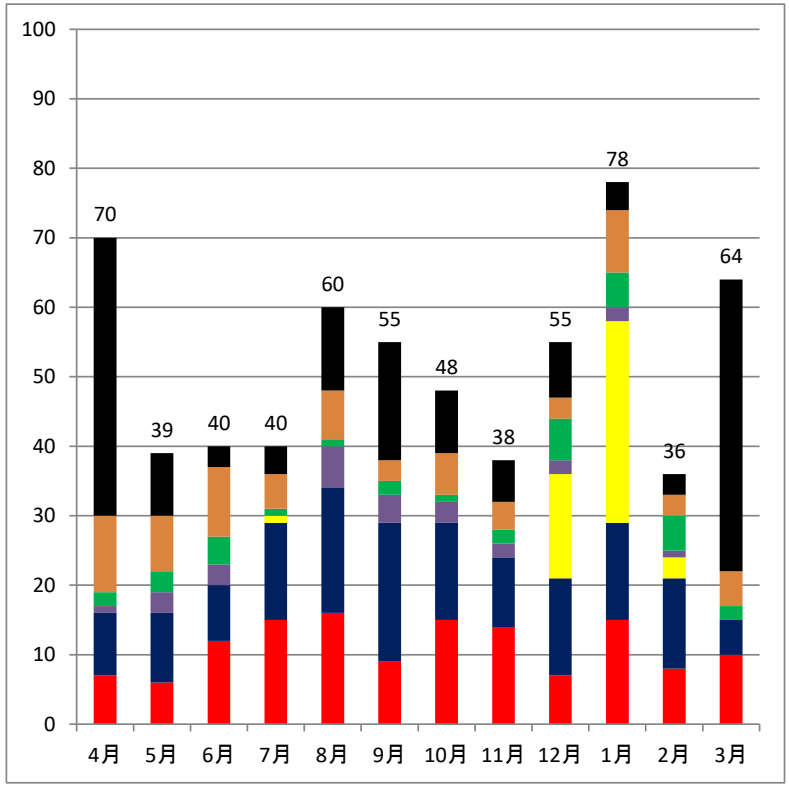
※5/6病院移転に伴う受入制限を実施　　※COVID−19に伴う受入制限

2. 収容不可理由別件数

平成30年度



令和元年度



平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車重複	2	4	1	8	14	6	5	2	7	14	9	8	80
OP対応不可	1	1	1	4	11	11	4	16	31	8	10	17	115
満床※							1		10	34	29		74
小児輪番を勧める	1		1	3	5				2	1	5	1	19
かかりつけを勧める				1	3	2	3	2		1	2	1	15
特殊科	1	1	4	10	6	5	3	4	4	8	6	6	58
その他	5	3	7	19	6	3	1	4	5	11	12	9	85
合計	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446

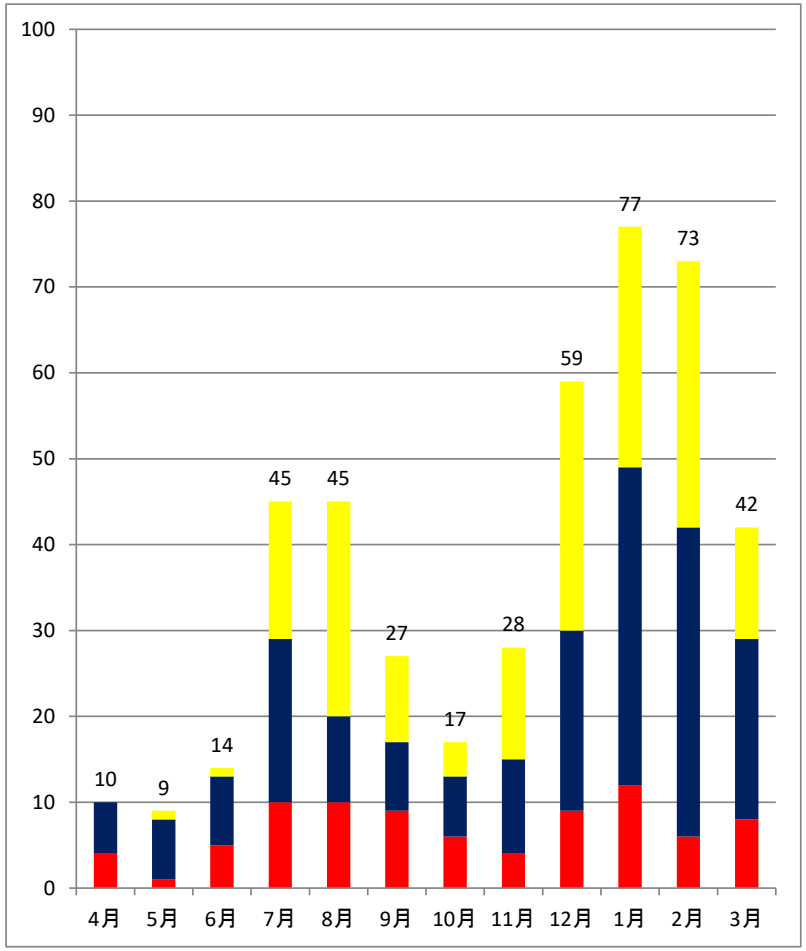
※インフルエンザ患者の受け入れ制限を含む【対象件数(再掲)　1月34件　2月27件】

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車重複	7	6	12	15	16	9	15	14	7	15	8	10	134
OP対応不可	9	10	8	14	18	20	14	10	14	14	13	5	149
満床※				1					15	29	3		48
小児輪番を勧める	1	3	3		6	4	3	2	2	2	1		27
かかりつけを勧める	2	3	4	1	1	2	1	2	6	5	5	2	34
特殊科	11	8	10	5	7	3	6	4	3	9	3	5	74
その他	40	9	3	4	12	17	9	6	8	4	3	42	157
合計	70	39	40	40	60	55	48	38	55	78	36	64	623

※5/6病院移転に伴う受入制限を実施　※COVID−19に伴う受入制

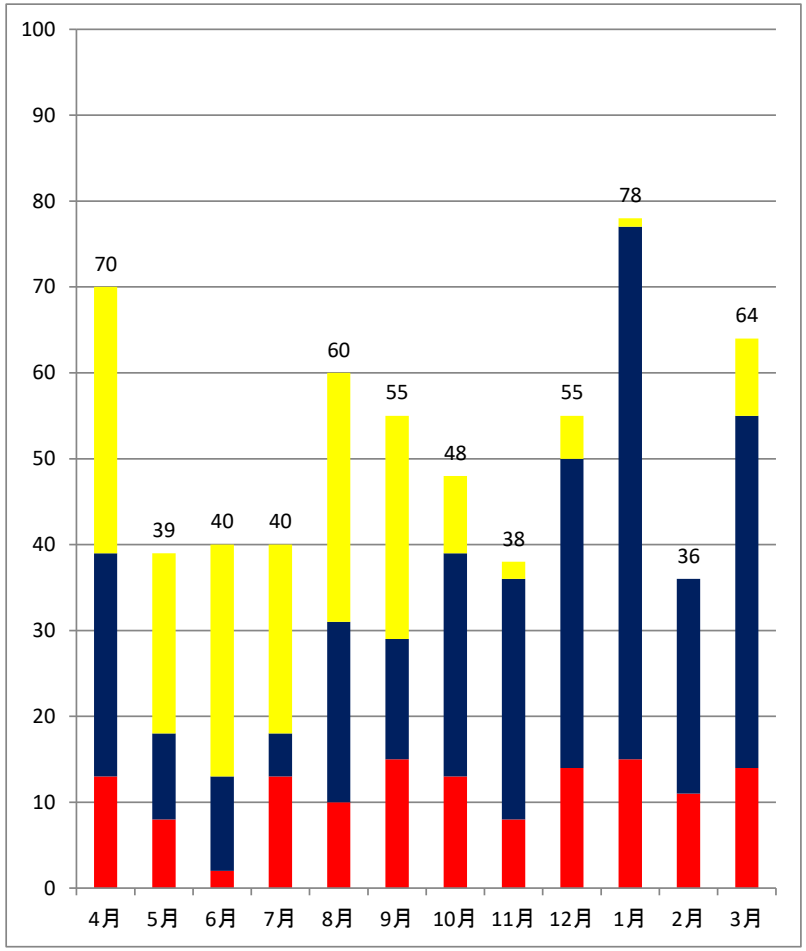
3. 収容不可状態別件数

平成30年度



平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
重症	4	1	5	10	10	9	6	4	9	12	6	8	84
軽症・中等症	6	7	8	19	10	8	7	11	21	37	36	21	191
不明		1	1	16	25	10	4	13	29	28	31	13	171
合計	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446

令和元年度

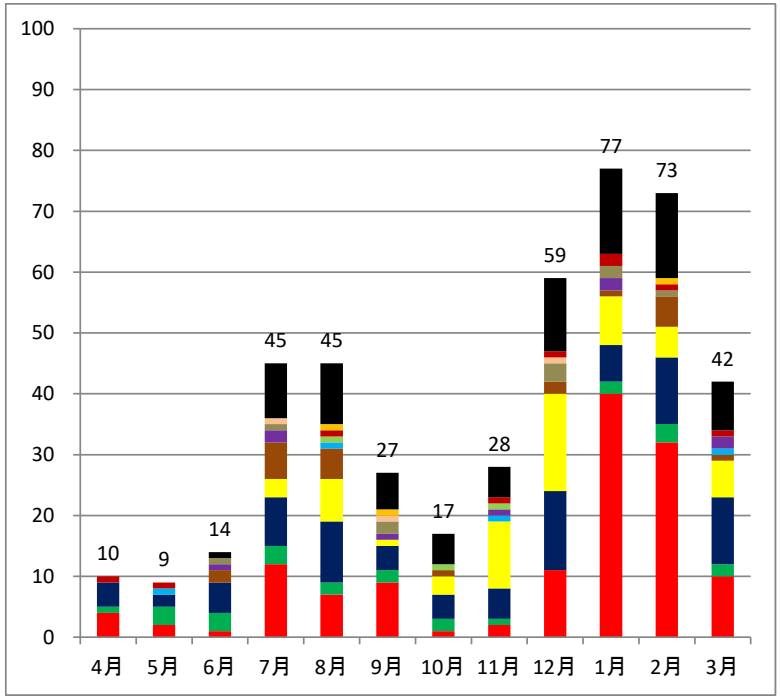


令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
重症	13	8	2	13	10	15	13	8	14	15	11	14	136
軽症・中等症	26	10	11	5	21	14	26	28	36	62	25	41	305
不明	31	21	27	22	29	26	9	2	5	1		9	182
合計	70	39	40	40	60	55	48	38	55	78	36	64	623

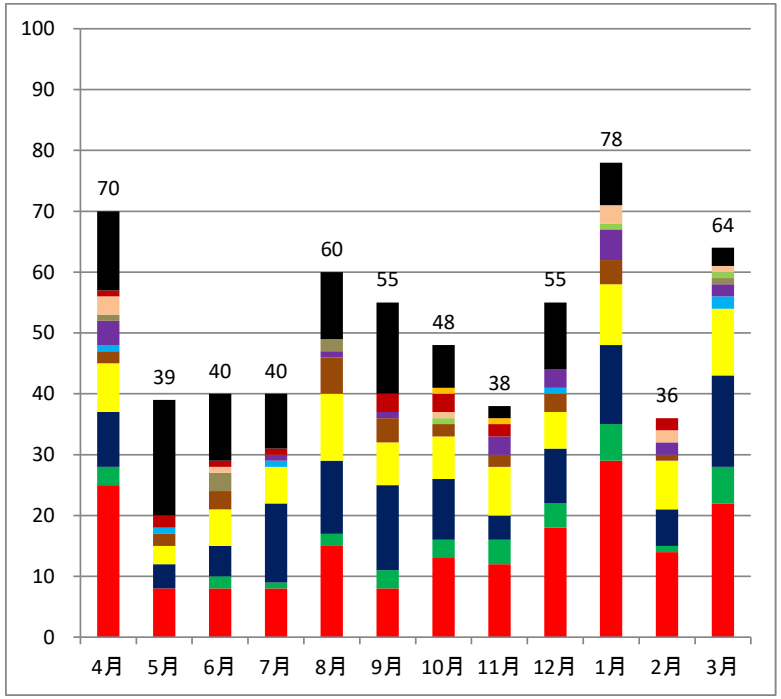
※5/6病院移転に伴う受入制限を実施　　※COVID−19に伴う受入制

4. 収容不可科別件数

平成30年度



令和元年度



平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	2	1	12	7	9	1	2	11	40	32	10	131
外科	1	3	3	3	2	2	2	1		2	3	2	24
脳神経外科	4	2	5	8	10	4	4	5	13	6	11	11	83
整形外科				3	7	1	3	11	16	8	5	6	60
小児科			2	6	5		1		2	1	5	1	23
産婦人科		1			1			1				1	4
耳鼻咽喉科			1	2		1		1		2		2	9
眼科			1	1		2			3	2	1		10
泌尿器科					1		1	1					3
形成外科				1		1			1				3
精神科	1	1			1			1	1	2	1	1	9
心臓血管外科					1	1					1		3
皮膚科													
不明			1	9	10	6	5	5	12	14	14	8	84
合計	10	9	14	45	45	27	17	28	59	77	73	42	446

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	25	8	8	8	15	8	13	12	18	29	14	22	180
外科	3		2	1	2	3	3	4	4	6	1	6	35
脳神経外科	9	4	5	13	12	14	10	4	9	13	6	15	114
整形外科	8	3	6	6	11	7	7	8	6	10	8	11	91
小児科	2	2	3		6	4	2	2	3	4	1		29
産婦人科	1	1		1					1			2	6
耳鼻咽喉科	4			1	1	1		3	3	5	2	2	22
眼科	1		3		2							1	7
泌尿器科							1			1		1	3
形成外科	3		1				1			3	2	1	11
精神科	1	2	1	1		3	3	2			2		15
心臓血管外科							1	1					2
皮膚科													
不明	13	19	11	9	11	15	7	2	11	7		3	108
合計	70	39	40	40	60	55	48	38	55	78	36	64	623

※5/6病院移転に伴う受入制限を実施　※COVID−19に伴う受入制